

# animal donation magazine

公益社団法人

アニマル・ドネーション 活動報告 <第9期> 2018年6月～2019年5月



文化、歴史、法律などが違えば考えも異なる？

**世界各国の犬猫を取り巻く環境の違いを  
知っておこう！**

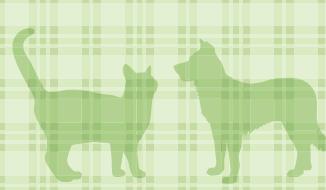


年1回の公募&審議で決定！

**2019年度に加わった、  
新しい4つの認定団体とは？**

オンライン寄付以外でも！  
アニマル・ドネーションなら  
さまざまな形で  
寄付や支援ができる！

# 新しく4団体が アニマル・ドネーションの 認定団体に!



アニマル・ドネーション(以下、アニドネ)は年に1度、支援させていただく認定団体の公募をしております。厳正なる審議プロセスを経て、2019年8月より新たに4団体が加わり、合計20団体となりました。今回は4団体の特徴と代表の方のメッセージをご紹介します。

## 特定非営利活動法人 手と手の森

**動物病院が母体。専門家が一丸となって「人と動物が共生できる社会」の実現を目指す**



旭川市動物愛護センターに収容された犬猫のうち、殺処分対象となりやすい病気や問題を抱えている犬猫、シニアの犬猫などを優先的に保護。動物病院敷地内に併設されたシェルターで、病気の治療やしつけを行い、新しい家族の元へと繋いでいます。また、動物愛護セミナー等の開催や、動物とのふれあいの場の提供、「高齢者の方のためのペット飼育支援窓口」を設けるなど、人と動物が幸せに共生するための啓発活動にも注力しています。

### メッセージ

「獣医師の背中が社会のために出来ること」という考えに基づき、動物病院のCSRとして活動を発足しました。高齢者や動物、関わるすべてを守ることができる、「八方良し!」のプロジェクトと信じています

代表理事 本田 リエさん



### 寄付使途：保護犬・猫の医療費、食費、啓発イベント開催費

- 設立：2010年10月(法人化：2012年10月)
- 住所：北海道旭川市旭神

## 一般社団法人 はーとinはーとZR

**獣医師の協力のもと必要があれば医療対応も。  
行き場のない犬猫800匹以上の幸せを繋げる**



保護した犬猫は5つの協力動物病院にて不妊・去勢手術まで行い、必要とあれば精密検査や高額医療まで実施。里親希望者さんにマイナス点もきちんと伝え、譲渡動物に対して命の責任が持てるかをきちんと確認しています。また、SNSを使って最低半年間、写真や動画付きで報告を送ってもらい、何か困ったことがあればすぐに相談できるような体制も。さらに、行政以外にブリーダーからのレスキューも、指導改善を条件に行ってています。

### メッセージ

「行き場のない犬猫を1匹でも助けたいとの思いで、今まで800匹以上の子達を幸せに繋げてきました。保護犬猫はトレーニングをし、丁寧なマッチングを心掛けています。今後は啓発活動にも取り組んでいきます」

代表 池上 奈穂さん



### 寄付使途：保護動物の医療費、啓発活動費

- 設立：2013年5月(法人化：2016年7月7日)
- 住所：東京都港区西麻布

## 特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道

**年間約400匹の猫を保護・譲渡！  
保護猫カフェ・預かりさんとの繋がりで実現**



### メッセージ

「冬の北海道、野良猫たちを取り巻く環境は過酷で刹那的です。『どうすれば不幸な猫たちを減らせるのか?』答えはただ一つ“適正飼育”です。そのため、不幸な猫を増やさない啓発活動を継続していきます」

代表理事 吉井 美穂子さん



### 寄付使途：保護猫の食費、医療費

- 設立：2010年9月(法人化：2012年10月4日)
- 住所：北海道札幌市中央区

## 特定非営利活動法人 ファミーユ

**老犬シェルター設立で終生飼育が可能に。  
名古屋市3年連続「犬の殺処分ゼロ」に大きく貢献！**



### メッセージ

「『ファミーユ』とはフランス語で家族。犬も猫も家族の一員で、終生家族として幸せな生涯をすべての犬猫にも送って欲しいという願いを込めました。小さな愛おしい命の為に、スタッフ一同精一杯頑張って参ります」

代表 熊崎 純子さん



### 寄付使途：保護犬・保護猫の医療費

- 設立：2009年1月(法人化：2012年8月28日)
- 住所：愛知県名古屋市中区

# 日本をはじめ、世界各国の犬猫を取り巻く環境の違いとは？

文化、歴史、宗教、法律などの違いによって、国ごとに犬猫との向き合い方には違いがあります。

アニドネでは、動物に対する正しい知識を多くの方に知りたいと考え、さまざまな違いについて、各分野のプロフェッショナルな方にインタビューを実施。国別データやアニドネスタッフが現地取材した内容を含めてご紹介します。

## 動物の対象と定義

国	対象と定義	国	対象と定義
日本：1.26億人 犬890万頭、猫965万頭 (2018年度)	「動物は命あるもの」 ✓ 1973年の動物の保護及び管理に関する法律「動物が命あるものであることにかんがみ、何人も、動物をみだりに殺し、傷つけ、又は苦しめることのないようにするのみでなく、人と動物の共生に配慮しつつ、その習性を考慮して適正に取り扱うようにしなければならない（第2条）	EU全体：5億820万人 犬6,023万頭、猫6,445万頭 (2010年度)	「感受性のある生命存在」 ✓ 1997年のアムステルダム条約にも動物福祉に関する特別な法的拘束力を持つ議定書が盛り込まれ、そこでは「家畜は単なる農産物ではなく、感受性のある生命存在 Sentient Being」として定義された。
ドイツ：0.83億人 犬702万頭、猫1,196万頭 (2015年度)	「動物は物ではない」 ✓ 1986年の改正「同じ被造物たる動物に対する人の責任として、動物の生命や健康を保護することにある」 ✓ 1990年の民法改正で「動物は物ではない」（第90a条）。	フランス：約6,633万人 犬724万頭、猫1,280万頭 (2015年度)	「動物は人間と同じく感覚ある存在」 ✓ フランスは「自然保護に関する1976年7月10日の法律」（Loi n° 76-629 du 10 juillet 1976 relative à la protection de la nature）で、動物は人間と同じく「感覚ある存在」（être sensible）と規定した（15）。

## 保護施設の違い

動物保護施設において世界各国との最も大きな違いは、日本には行政が管理をする施設が数多く存在することです。アニドネスタッフが日本・海外の現地に実際に赴き、取材した内容をお伝えします。

\*詳しくはアニドネHPの「行政施設レポート」「海外情報レポート」をご覧ください。



## JAPAN

日本には動物愛護センターや保健所と呼ばれる、地方自治体で運営する施設が114カ所\*存在。人と動物のふれあいの拠点になるよう、県民参加型の施設として平成24年4月にオープンしたのが「新潟県動物愛護センター」です。

\*「動物の愛護と適切な管理 人と動物の共生をめざして」  
地方自治体連絡先一覧より



犬たちの個室は自由に外に出られる作りに。譲渡対象の犬猫の見学も自由に行え、マッチング体験ができる「ふれあい体験室」も設置



猫たちの個室もジャンプができるほどゆったりとした空間。外を眺めてストレスを軽減する工夫も施されている



緑豊かな小高い丘陵地にあるセンターでは、毎日譲渡会を開催。犬や猫だけでなく、うさぎやモルモットなどの小動物の保護も行う

愛犬と一緒に入館できるほか、併設の芝生広場で遊ぶことも。また「飼いたいけど飼えない…」という方向けの、犬のお散歩体験会も人気



現在25名のミルクボランティアさんの協力のもと、800gになったら子猫をセンターに戻し譲渡するという取り組みも



## GERMANY

ドイツには「ティアハイム（Tierheim）」と呼ばれる民間の動物保護施設があります。「動物（Tier）」の「家（heim）」という意味を持ち、全国に数多く存在。その中でも最大規模と言われるのが「ティアハイム・ベルリン」です。



ベルリンのティアハイムは東京ドーム約3個分の敷地面積を有し、犬、猫、小動物、爬虫類などさまざまな動物を保護



ガラス張りのドアの奥では、各部屋に猫たちが何匹かずつ。キャットタワーも毛布などもあり十分なスペース

スポンサーが付いている子たちには、専用の貼り紙も。新しい家族を見つけて暮らしても、原則として支援は続くぞ



犬舎は1頭づつに分かれている、猫舎同様、奥の小窓から外に出られるように。ボランティアさんと一緒にお散歩タイムも



## SWITZERLAND

豊かな自然に囲まれ「動物福祉が進んでいる国」というイメージがあるスイス。国の南側にあり、イタリアとの国境近くにある動物保護施設「Sociera Protezione Animali Bellinzona（通称:SPAB）」。ここはティチーノ州内に5カ所ある保護施設の中では一番大きく、犬猫はもちろんのこと馬や山羊、牛、また野鳥に関してはスイス州の中で唯一保護が許されている施設です。



今年で創立65周年になる民間の動物保護施設。軍事施設を改築し、保護された動物の管理をはじめ年間1000件以上の問題に対処



公園を思わせるこの場所は、実はお墓。三角の造作物の中に亡くなった動物たちの名前が刻まれている



犬たちが暮らしている広々としたスペース。30人以上のボランティアさんがお世話や散歩などを



動物のメンタルを重視するスイスでは、集団で生きる動物は1頭で飼育してはいけない法律があるため必ず多頭で飼育

## 動物観の違い

動物資源科学、獣医解剖学、人と動物の関係学を専門とされ、「犬の心理学」という著書も出版されている、  
(独)国立科学博物館 館長の林さんに「動物観」についてお伺いしました。

### 食生活の違いが動物観に影響している

日本はこう、海外はこうと決めつけるのは難しいと思います。もちろん歴史的、宗教的な背景や個々の価値観はあるものの、食生活が起因しているところが大きいとかと。日本人は元々、魚食中心の民族で、ほ乳類（牛や豚など）を殺して食べるとということをしていなかったため、ほ乳類を殺すことに抵抗があると思います。

対して海外の市場では、姿そのままでウサギや豚が陳列されていることがあります。日本人は目を背けてしまいたくなる光景かもしれません、海外の人にとっては当たり前なのです。ある意味、日本のスーパーに魚がそのままの形で並んでいるのと同じことなのかもしれません。

### 時代や考え方と共に 犬猫との生活スタイルも移り変わる

縄文時代の竪穴式住居の頃は、犬は人間と一緒に家の中で暮らしていたのです。その後、古墳時代に入ると高床式住居に変わり靴を脱ぐ習慣ができたため、犬は外で暮らすように。江戸時代からは、猫は家と外を自由に行き来し、犬は外で飼うという概念が定着し、近年まで続いていると考えられます。一方、欧米ではwell-



林 良博(はやし よしひろ)

独立行政法人 国立科学博物館 館長  
東京大学農学部卒業後、ハーバード大学客員研究員、コネル大学客員助教授、東京大学農学部教授を歴任し、2010年に山階鳥類研究所 所長(現在、専務理事)、2013年に(独)国立科学博物館 館長に就任。

being (ウェルビーイング) の観点から、犬は家の中で家族と暮らすのが何よりの幸せであり自然なことであると昔から考えられていました。

犬の飼育に関する知識は日本も欧米並みになってきたと思いま  
す。何事に対しても、見慣れないものに対して最初は抵抗し警戒  
があるものの、慣れると平気で当  
たり前の世の中になるのです。こ  
れからもっと犬猫と人間の関係  
性が変わっていくと思います。



## 犬のしつけの違い

海外で経験を積めた後、日本国内でドッグトレーニングプロデューサーとして活動しながら、  
「犬から学ぶ」ヒューマン・ドッグ トレーニングのスクールを運営している須崎さんに「犬のしつけ」についてお伺いしました。

### 「犬・飼い主・社会」、 3者の関係性がしつけの違いに表れる

日本では「飼い主と愛犬」という個の関係が尊重されるのに対して、海外では「社会の中の犬」という考えが根付いています。海外では家に犬を迎えることが決まれば、事前に家族みんなでパピー教室に参加します。経験値があったとしても、新しい犬としっかり向き合うのがスタンダード。そうしないと無責任な飼い主というレッテルを貼られるくらいです。犬が問題を起こしたら地域全体に危険が及ぶかもしれない、だからお互いとても厳しく監視しあうのです。対して日本人は、愛犬と自分の個の関係を大事にしている人が多いですね。どちらが良い悪いというわけではなく、「犬・飼い主・社会」この3者の関係性が、しつけの違いにも表れているのだと思います。

これから犬を迎えようと考えている人は、まずは犬の生態を知るところから始めてください。それから犬種で特性が違うことも知ってほしいですね。ただし同じ犬種でも個々の性格は全然違います。「三つ子の魂百まで」という諺がありますが、犬の場合は生後6ヵ月くらいまでの経験値で、性格や行動が大きく変わります。その間に飼い主と犬がしっかり信頼関係を構築してしつけることで、犬との暮らしがより楽しめるようになると思います。



須崎 大(すざき だい)

ヒューマン・ドッグ レーナー  
DOGSHIP LLC. 代表  
<http://dogship.com>

実務経験と動物の行動学と心理学を学問してきた立場から、  
人と犬、人と人の相互関係をライフワークとして研究。互いの  
行動変容を促すコーチングを用いたトレーニングは、顧客満足度  
の高さに定評がある。また近年、社会人向けに「動物から学ぶコミュニケーション」をテーマに企業や自治体・ホテル等にて、講師としても活動を行う。

### 希望するライフスタイルによって 最優先して教えるしつけが決まる

欧米では犬を飼いたいと思ったら、「犬とどういう生活をしたいのか?」ということを思い描きます。犬と一緒にアウトドアを楽しみたいという人は、アクティブな犬種を選ぶ、というふうに。そしてアウトドアを楽しんでいる時に万一リードが外れてしまったら…という事態に備え、「呼んだらすぐに自分のところに帰ってくる」というしつけが大事と考えます。そのため飼い主は、「RECALL (呼び戻し)」を最優先して教えます。  
一方で、日本では犬のしつけというと、まずは「オスワリ・フセ・お手・おかわり」を思い浮かべる人が少なくないはずです。それも悪くないのですが、みんなが必ずしも同じことを教える必要はない、それぞれのライフスタイルに合わせたしつけをすればいいと私は考えています。逆に日本のほうが進んでいると思うのは、介護グッズの豊富さです。老いたペットを少しでも長く、楽に暮らさせてあげたいという日本人の死生観が影響しているのかもしれませんですね。



## 介護・死生観の違い

「ペットの死は悲しいけれど、出会いは素晴らしい。だからまた一緒に暮らしたい!」という想いを飼い主さんに持って欲しい。そんな思いから、「グリーフケア」という新しい動物医療を展開している獣医師の阿部さんに「人間とペットとの関係や介護、死生観における日本と海外との違い」についてお伺いしました。

### 人とペットが共生している海外、ペットを心の支えにしている日本

海外と日本との大きな違いは、日本はペットへの依存が強いことです。私が暮らしているマレーシアを含め、海外の人々は生まれた時から決まった宗教を持っています。神様にお祈りすることで心が救われ、心の平穏が得られる中で生きています。つまり宗教に依存しているから、動物はパートナーのような共生する存在なのです。特別な宗教を持たない日本人も、以前は人ととの関係の中で共に心を支えあって生きていましたが、今は少し人間関係が希薄になっているので、心の支えをペットに求める方が多いのも当然だと思います。だから、支えになるペットに出会えたのであれば、それは偶然のようだけれど、飼い主さんの心が欲しているから実現した必然であり、オンリーワンの貴重な出会いなのです。その子に依存することで、自分の毎日のQOL が上がるなら、それは素晴らしいこと。思いっきり依存して、自分とその子のハッピーライフを作ってください。それが、私の提唱する「グリーフケア」です。



### 日本では依存度が強いからこそ、病気と知った時のショックが大きい

「グリーフ」とは、自分の大切な宝物を失ったとき、失うかもしれないときに誰にでも起こるごく自然な心と体の反応です。人間の医療においては最愛の方の死に伴う悲嘆のケアですが、私の考える動物医療での「グリーフケア」は動物が抱えるグリーフに配慮していく心のケアです。日本では、「この子がいるから頑張れる」「この子がいるから私は幸せ」「この子がないくては、生きていけない」という言葉をよく聞きます。ペットがそれほど重要な存在になっていると、治らない病気を告知された時のショック度と言ったら、それはもう大きなものがありますね。医療者がそういう気持ちを理解しないまま病気や治療の説明をしてしまうと、恐怖心を与えるばかりではなく、飼い主さんは「治療さえすれば治る」と大きな期待を抱いてしまいます。すると、それまでペットの表情や仕草、行動など言葉以外のものから気持ちを感じ取っていた飼い主さんが、目の前のペットを見ずに、病気とコミュニケーションを取り始めてしまうんです。「〇〇ちゃん」ではなく、「腎不全さん」とか「臍炎さん」とか病気のレッテルを貼ってしまう。検査で病気が分かっても、目に見える症状がなく今まで通り普通に暮らしていく子はたくさんいるのに、病気が見つかった瞬間から「病気ちゃん」になってしまいます。



阿部 美奈子(あべみなこ)

動物医療グリーフケアアドバイザー・獣医師  
麻布大学大学院修士課程を修了。現在はマレーシアに在住し、9年間毎月日本との間を往復しながら「動物医療グリーフケア」を展開。「待合室診療」という今までにない臨床を発掘。日本全国を縦断しながら「ペットと飼い主さんの抱えるさまざまな心情(グリーフ)へのケア」を中心に、ペットの生前から死後のグリーフまで幅広いカウンセリングを行う。

### 日本人ならではの生真面目さがペットのグリーフを大きくすることも

暮らしの中で、今まで聞いたことのない病気の名前や症状のフレーズが飼い主さんの口から飛び交うようになってくると、今度はペット自身がグリーフを感じるようになります。飼い主さんが心配そうな低い声と緊張した面持ちで



話すようになると、理屈を理解できないペットは不安、疑問の気持ちが大きくなり、恐怖心を抱くようになります。病気を告知されたときに緊張や恐怖が増す生活になりやすいのは、日本人が真面目で周りの目や考え方を気にしがちだからかもしれません。「これをやらなければいけない」と思い込んだり、周りの目を気にしたり、「人に迷惑をかけてはいけない」と周囲に悩みを打ち明けられず、自分でグリーフを抱えてしまう状態に陥りやすいのです。

また動物病院がグリーフケアの勉強をしていないと、飼い主さんやペットの気持ちよりも、病気の治療を優先してしまいかがちです。こうした日本の傾向は、ちょっと危険だなと思うことも。まずは、医療者がその子の性格や家での過ごし方、飼い主さんとの出会いのストーリーなどを聞いて、その子のことをよく理解した上で、心を脅かさないよう治療方法を考えていくことが何より大切だと考えます。

### 日本の介護に求めたいのは、ペットにギフトをあげるという発想

もちろん、海外でもペットの病気を告知された飼い主さんはグリーフを持ちますが、お祈りをしながら気持ちをリセットしてペットに向き合うことができます。体調が悪くあまり食べられない時は、ペットが食べたいと思うものをあげるなど、フレキシブルに対応できるのが海外の人。それに対して日本人は、獣医師の出した療法食を食べさせなければ必死になってしまいます。生真面目ゆえのグリーフです。でも、考えてみてください。あなたがペットの立場だったら、食べたくないものを無理やり与えられるのは大きなストレスですよね。心を脅かす治療は、結局、体にもよい影響を与えないのです。病気を治すことだけにとらわれてしまうと、その子の大切な安全基地であるお家や日常の暮らしが奪われているかもしれません。元気な時と同じように、病気の時もその子が生きているQOLを守っていくためには? そういう視点から看護、介護していくことが、依存させてもらったペットへの最高の「ギフト」になると私は考えています。

今回の取材を通して、動物を想う気持ちは同じでも、根付いた文化や価値観、暮らし方、病気や生死に関する考え方、日本と海外とでは違いがあることがわかりました。それを理解したうえで、「真の共生」という意味を今一度考えてみてはいかがでしょうか。

アニドネなら

＼オンライン寄付・企業サポーター以外にも、／

# さまざまな形で寄付や支援ができる!

「普通に寄付をするのもいいけど、何か活動を通して寄付することが出来れば…」と思う方のために、アニドネでは、寄付つき自動販売機を設置したり、店頭に募金箱を置いていただくなど、さまざまな方法で寄付に参加することができます。

今回はその中でも、企業との「コラボレーション寄付」、商品の一部に寄付をつける「+イイコト」をご紹介します。

## コラボレーション寄付

商品購入やサービスの利用で、その売上的一部分がアニドネを通じて認定団体へ寄付

### 犬ヶ島



ストップモーション・アニメの第一人者であるウェス・アンダーソン監督が手掛けた映画「犬ヶ島」。公開と同時に始まった「アニドネ」×WEBメディア「sippo」×映画「犬ヶ島」の期間限定コラボ企画。

映画の根底にあったのは「いつの時代も犬と人間は良き友である」ということ。映画の主人公の少年が“大切な友だち(犬)を守る”と決意した行動に背中を押され、「日本の犬を救おうプロジェクト」を発足。寄付目標100万円に対して、110万円を超える寄付が集まりました。



映画のオリジナルグッズを抽選でプレゼント！

### sippo

「犬や猫とともに幸せに」をテーマにペットにまつわる様々な情報を提供されている、(株)朝日新聞社のWEBメディア「sippo(シッポ)」。2018年8月に東京・新宿の京王百貨店で大イベントを開催されました。

幸せになった保護犬・保護猫の写真展や、白黒猫をキャラクター化した「白黒さんいらっしゃいパネル展」、人気猫のぐっぴーとくまおの「ぐっぴーくまお部屋」コーナーも設置。2日間で合計300頭の保護猫の譲渡会も行われました。会場内で保護活動への募金を募っていただき、集まった12万2,407円全額を寄付いただきました。



2019年2月にパナソニックセンター大阪にて開催された保護猫たちの写真展「みんなネコ」からは5万7,700円、sippoが主催となり猫の動物病院受診を啓発するキャンペーン「ネコも動物病院プロジェクト」(協賛:花王、ベーリング、ガーゲルハイム、アニマルヘルス、ジャパン)からは23万7,700円の寄付をいただきました。



### 「日本の犬を救おうプロジェクト」

～日本の犬猫は助けを求めています～

#### ① 毎日118匹の犬猫が殺処分に

イギリスやドイツに比べると、先進国の中では動物に対して成熟していないと言われる日本。毎日118匹もの犬猫が殺処分されているのは、日本の悲しい現実です。  
\*平成29年度は4万3,216匹が殺処分されています。環境省調べ

#### ② 犬猫の飼育頭数合計は、子供の数を大きく上回っている

少子化の続く日本では、平成30年4月1日現在における15歳未満の子供の数は1553万人(総務省調べ)。一方、犬猫の飼育頭数合計は、平成30年度では1855万頭です(一般社団法人ペットフード協会調べ)。

#### ③ 全頭レスキューが目標!寄付により命が救われる

犬猫は、レスキューしてから医療費・食費・ベットシーツ代・トリミング代などが必要となり、生活全般にかかるお金は約5万円だといわれています(犬の場合)。

#### 寄付に救われた 犬たち

悲しい殺処分の現実がある一方、犬猫の保護や里親探しに奔走している団体やボランティアの方々も多くいます。



保護犬と暮らすことを  
選んだ飼い主さん

盲目の犬ですが  
私達には可愛い我が子。  
シンプルに  
そう感じています

※詳しくは、WEBサイトで「sippo × animal donation 日本の犬を救おうプロジェクト」と検索してみてください。

### ねこのきもち

ペットと暮らしている方なら、誰もが知っている(株)ベネッセコーポレーションの「いぬのきもち」「ねこのきもち」。

保護猫活動を支援するために、初の試みとして、2018年12月号「ねこのきもち」の売上的一部分を寄付いただきました。

なんと目玉付録は「保護猫あわせジッパー袋」。モデルの猫さんは元保護猫。耳にその名残がありますね。ジッパー袋は、ドライフードを小分けにして入れたり、オヤツやお薬を入れたりと、持ち歩きにもちょうど良いサイズ♪袋の中から目が合ったら、思わずんまりしてしまいそうなほどの可愛さですね♥



こちらも注目



ムック版として「保護ねこのきもち」も発売されております。こちらも注目です!

## ナイイコト

商品価格の一部に寄付をつけ、その売上的一部分がアニドネを通じて認定団体へ寄付

### 株式会社 RABO

「世界中の猫と飼い主が1秒でも長く一緒にいられるように、猫の生活をテクノロジーで見守る。」を、ミッションに掲げている(株)RABO。CEO伊豫さんのバイオロギング研究の経験と猫様への愛が繋がり、猫専用首輪型デバイス「Catlog(キャトログ)」が誕生しました。アニドネサイト経由の購入において、1個につき400円の寄付をつけてくださいました。



「寄付『Catlog(キャトログ)』には、飼い主さんと猫様の“絆の首輪”として『一生あなたのことを大切にするよ』という想いもこめています。この想いと、幸せな動物を増やす動物福祉活動はとても近いものがあるなと思ったため、何か弊社でも貢献できないかと考えました」

CEO 伊豫 愉芸子さん

### ペットアロマウェルビーイング協会 (Pet Aroma Well-being Association 略称: PAW)

「ペットと人がより豊かで健康に暮らせる社会の実現」をビジョンに、ペットアロマセラピーの知識や技術の啓発、ペットとの“Well-being”を実現するためのイベントや各種ライセンス試験の実施・認定の活動を行っています。動物との共生社会の実現への取り組みの一つとして、オンラインshop、セミナー参加費、年会費、講座受講料などの売上的一部分を寄付いただきました。



「『愛を軸にホリスティック(全体、繋がり、バランスを意味する言葉)に生きることを大切に、ペットと共に幸せに暮らす。そのための活動が、遠く離れた海外(バリ島)からでも『社会貢献』につながることになれば、大変うれしく思います」

代表 すどうえりさん



### 第9期 収支表

(2018年6月1日～2019年5月31日まで)

(単位：万円)

収入		2,197
受取寄付金		2,123
その他収入		74
支出		2,091
支払寄付金		1,259
その他支出		832
財産増減額		
期首残高		318
当期増減額		105
期末残高		424

※受取寄付金には指定正味財産の増額も加算しています。

#### 賛助会員 (アニドネ自体の活動を応援)

##### 個人

(50音順・敬称略)

- 五十嵐弥生 ●竹前敦 ●望月幸枝
- 臼井しな子 ●竹前直子 ●山口百合
- 河崎祐一郎 ●西平葉子
- 杉山葵 ●浜田加奈子

他6名

##### 法人

●HRビジネスパートナー株式会社

### 第9期 寄付総額 2,123万円



Boehringer Ingelheim ベーリンガーインゲルハイム  
AniMarleJapen(株)



特定非営利活動法人  
寄付型自動販売機普及協会



flatten meows



Shall Be



Memory Pet's Club



OF PETS

TETSUJINSYA



はにかむ工房



ORTUS JAPAN ジャパン

株式会社ファインズコーポレーション



only wan

T's Doggie Private Room



Schanika

HONDA ODAKURE-TAI



Kelly



T's Doggie Private Room



ペットアロマウェルビーイング協会



Syncable

JAPAN MADE HEALTHY DOG FOOD

Leo & Lea

KAKU GADGETS

### 寄付金額の40%～50%が戻ってきます

寄付金から2,000円を引いた額の最大50%(所得税40%+住民税10%)が戻ってきます。  
例えば、5万円を年間に寄付した場合、  
2,000円を引いた48,000円の40%～50%が還付され戻ってくるのです。※注

※注 住民税も寄付金控除の対象となります。  
例えば東京都港区の場合は、控除割合は最大10%(都道府県民税4%／市区町村民税6%)となります。ただし、各自治体によって異なります。  
※詳しくはアニドネHPの「税金控除の対象」内をご確認ください。

### 寄付控除について

アニマル・ドネーションは「公益社団法人」です。  
ご寄付をいただきました個人様は寄付金の優遇税制対象となります。  
※企業様については、アニドネHPの「税金控除の対象」内をご確認ください。

アニドネ  
主催

# 「STORY with PET」キャンペーン 素敵なお話大募集の実施報告



## キャンペーンの趣旨

人とペットの間には、特別な絆が生まれます。それはペットと暮らした経験があれば、誰しも感じことがあるのではないでしょうか。彼ら、彼女らの温もりや純粋な心は愛すべきもので、言葉はしゃべらないけれど分かり合える信頼関係を築くことができます。そんな愛おしいペットへの想いを綴ることで、幸せな犬、猫を1頭でも多く増やすことができる「寄付企画」。この機会に改めて、普段からペットに感じている感謝や気持ち、今は亡きペットへの想いを綴ってみませんか。

## オリジナル映像の制作

2019年秋に公開した映画「駅までの道をおしえて」(原作:伊集院静)のスタッフが、キャンペーンの企画趣旨に賛同くださいました。そこで誕生したのが、映画のプロたちとコラボレーションするオリジナル映像の贈り物。投稿されたお話の中から厳正なる審査のうえ1作品をGOOD STORYとして選ばせていただき、飼い主さんのインタビューやペットとの様子等を映画撮影のカメラマンやプロデューサーが映像作品とし、プレゼントさせていただきます。



ペットへの想いを綴り投稿することで、

1投稿1000円の寄付がアニドネから認定団体に寄付されるキャンペーンを、2019年3月4日～4月26日の期間限定で実施。目標金額50万円に対し、500投稿以上の素敵なお話を寄せていただいた企画となりました。

## GOOD STORY賞 発表

アニドネ内キャンペーン担当スタッフにより  
厳正なる審査を行い、大賞が決定いたしました！  
飼い主さんが寄せてくださった投稿をご紹介します。

### そしてパグフェスへ

To:だいきち・ファンク・ジュニア From:小林健介

「売り手よし、買い手よし、世間よし」が、商売の基本と言われるけれど、ワンコとの健やかな暮らしの基本は「愛犬よし、飼い主よし、世間よし」だと思う。思えば、だいきちとの暮らしの中で、僕はずいぶんと世間と繋がった。ご近所さんのことなんて気にもしなかった僕が、だいきちと暮らして以降、散歩中のじじさま、ばばさまや通学中の少年達とあいさつどころか軽い会話すらするようになった。ご近所のわんこ達にぐいぐい積極的にコミュニケーションをはかるだいきちさまさま。まさに、「パグの振り見て、我が振り直せ」といえる。この投稿もご近所に住んでたフレフレ 小雪ちゃんのパパさんが教えてくれたことがきっかけ。ワンコを通じた世間とのコミュニケーションはどんどん広がっている。ワンココミュニケーションは、リアルな場だけにとどまらない。オンラインも含めると日本中のワンコとワンコラバーズと繋がっている。小雪ちゃんは浜辺に引っ越してしまったけれど今だ連絡てくれるし、四国に行ってしまったパグのはなちゃんもいつもあたたかいメッセージてくれる。オンラインとオフライン、2つの空間を行き来しながらワンコの輪は大きくなっている。そう



して、コミュニティが広がってきたところで次に考えたのは、やっぱりお祭り。僕がだいきちと、世間から受けたビースフルな感覚を、イベントを通じてまた世間に返すこと。パグとパグラバーズのための祭典「パグフェス」をこの夏開催することに決めました。パグ&ビースを旗印に、「愛犬よし、飼い主よし、世間よし」の三方よしな世界観を作っていく。それがまた、より一層のだいきちとの健やかな暮らしになることを信じて。ということを自媒体を発信していると、それがまた仲間を呼び、輪が広がった。なんと素晴らしいパグのチカラ。「ゆるさ」と「ユーモア」。それが『パグ&ビース』

## アニドネ活動レポート<第9期>

### 潜在層が参加できるチャンスを 増やすことで、日本の寄付アクションを 促進していきたい。

『キモチをカタチに』を共通フレーズとして、“動物への想いをカタチにしたい企業や個人”と“動物のために日々がんばっている動物福祉団体”を結ぶ「中間支援」として活動をするのがアニドネのミッションとなります。2019年に新たに4団体が認定となり、保護団体・伴侶団体・啓発団体合わせて20団体となりました。前回の法改正により、行政施設が動物の引き取りを拒否できるようになったことから、数字として表に出る殺処分数は毎年減少。その一方で、未だ人間と動物を取り巻く問題は多岐にわたり存在し、複雑化しています。多頭崩壊やブリーダー崩壊、人間と動物の高齢化に伴う終生飼育や介護に関する問題などはマスメディアでも取り上げられることが多くなり、社会問題としても顕在化し

アニマル・ドネーション  
理事／プランナー  
上野 歩美



ています。また、災害大国日本として、災害時の動物との避難に関する問題の解決も発展途上となっている状況です。そのような中でアニドネの役割も、これまで向き合ってきていた「寄付者顕在層」だけではなく、動物の課題を認知する前やまだアクションに結びついていない「潜在層」へのアプローチも強化していきたいと考えております。今期はそのスタートとして、映画とのタイアッププロモーションや飼育者の我が家への想いを語るプラットフォーム型参加プロモーションなど、新たなチャレンジも実施いたしました。公益法人の運営は非常に責任と労力を要しますが、引き続きスタッフ一同真摯に向き合いながら、『キモチをカタチに』できる場の構築を実現してまいります。

## 動物福祉向上のための勉強会

### 動物における福祉の特別講義を 愛知県「日本福祉大学」にて開催

毎年「日本福祉大学」にて、夏休み前の特別講義をクラブアニドネのスタッフ 余名みが実施しております。2019年7月も、「知ってみよう!動物福祉」という内容で開催。学生さんはとても熱心に学ばれていて、「将来は保護犬を迎たい」「動物福祉とは、動物が (ふ) つうに (く) らせる (し) あわせ のことなのだと分かりました!」など、素敵なメッセージも頂きました。アニドネでは勉強会の依頼も受け付けておりますので、ぜひお問い合わせください。



## アニドネ Information

アニドネのプロモーション動画  
『キモチはつながる』



この動画は、動物への想いを持った方々がボランティアとして作り上げてくれたものです。

『キモチはつながる～保護犬と保護猫と生きる人～』

ここに登場する犬・猫は、すべて保護犬・保護猫です。新しい飼い主と出会い、新しい毎日を過ごしています。「出会わなければ、失われていたかもしれない命」。ひとりでも多くの方がこの動画を見ることで、保護犬・保護猫という存在を知り、今の温かい暮らしを想像いただければと思います。ぜひご覧ください。



『キモチをカタチに』  
アニドネ募金箱設置のお願い

募金箱を設置してくださる、カフェ、トリミングサロン、ドッグラン、ショップを大募集しております。

動物のために活動する団体への寄付やアニドネの運営費として、大切に使わせていただきます。たくさんの場所で、この募金箱を見た方が動物への優しいキモチをカタチにしてくれると、とても嬉しいです。設置をしてくださる方は、アニドネにご連絡ください。

E-mail : info@animaldonation.org  
メールタイトル：アニドネ募金箱設置希望  
●お名前 ●連絡先メールアドレス ●電話  
●募金箱送付先（郵便番号・住所・電話、  
募金箱設置場所のサイトがあればURL）

## magazine STAFF



EDITOR アニドネ 山本和子



DESIGNER 赤星淳一

animal donation magazine vol.4

発行：公益社団法人アニマル・ドネーション  
住所：東京都港区南青山2丁目15-5 FARO1F  
代表：西平衣里

URL : <http://www.animaldonation.org/>